

第15回埼玉県競輪事業検討委員会 概要

- 日 時 令和8年3月23日（月） 13：00～14：30
- 場 所 大宮ソニックシティビル 704号室
- 出席者 岩崎康夫委員（委員長）、小川千恵子委員（副委員長）、岩佐亮平委員、岡村春香委員、栗原千亜希委員、小沼航士委員、長岡新也委員

■ 議事概要

- 1 会議の公開について
非公開とすべき情報は含まれないため、原則どおり公開とする。
- 2 議事
議題（1）埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について
議題（2）今後の大宮双輪場の再整備について
事務局より資料を用いて説明

【議事概要】

（議題（1）埼玉県営競輪事業の売上及び課題への対応状況について事務局より説明）

- 小川委員
大宮双輪場のボルダリングエリアは常設か一時的なものか、また、利用料の有無について教えてください。
- 事務局
常設で無料です。横にストライダーというキックバイクの練習場も設置しているので、両方楽しんでいただければと考えています。
- 小川委員
資料に掲載されている写真ではヘルメットを被っていないが、安全対策は大丈夫でしょうか。
- 事務局
それほど高さはないため、下にマットを敷いて安全対策をしています。
- 長岡委員
令和7年度の入場者数は前年度を下回る見込みとあるが、売上が増えている状況で入場者数が増えない理由を教えてください。
- 事務局
全国的に、競輪場に来場せずにインターネットで車券を購入されるお客様が増えていることが大きな要因であると考えています。

○ 岩崎委員長

大宮双輪場の場合、1日あたりの最大入場者数は何人くらいですか。

○ 事務局

令和7年度の大宮双輪場の1日あたり最大入場者数は、令和8年1月18日に開催した大宮記念競輪最終日の7,132人です。

○ 岩崎委員長

合計入場者数の今後の見通しはどのように考えていますか。

○ 事務局

当事務所は「ネットからリアルに」という取組を続けており、競輪選手の魅力等をネットで紹介し、来場のキッカケにしてもらえるよう取り組んでいます。最低限現状の来場者数を維持できるよう取り組んでまいりたいと考えています。

○ 岩崎委員長

インターネットの売上が増加すると、入場規制ができないためギャンブル依存症が増えるのではないかという懸念がありますが、どのような対策をしているか、事例があれば教えてください。

○ 事務局

インターネット売上の中心である民間ポータルでの車券販売にはポイント付与があり、例えば購入金額に応じたポイントバック等、民間事業者が顧客獲得のために工夫しながらサービスを提供しています。しかし、オンラインカジノを契機としたギャンブル依存症対策の国の方針を受け、令和8年2月1日から全国でポイント規制というものを始めました。従前のポイントバックが3%であったのに対し1%を上限とすることや、ポイントバックを車券購入日の翌日以降に行うことで、のめり込まないようにする等の対策を全国的に行っています。

○ 岩佐委員

現在の競輪はインターネット投票が売上の大半を占めておりますが、その背景には民間ポータル事業者間の競争の影響も一定程度あると認識しています。今回のポイント付与に係る運用見直しにより、過度なサービス競争の抑制が図られるとともに、各民間事業者間においてもギャンブル依存症対策を重視する方向での認識共有が進んでいるものと考えております。

○ 栗原委員

売上額は増加傾向にあるのに対し、収益額の推移が横ばいなのは、インターネット投票の手数料の負担が重いという理解でよろしいでしょうか。

○ 事務局

現行の包括委託契約では、本場売上の0.95%、場外売上の0.6%を県の収益とする内容になっており、県の収益は売上の1%程度となります。また、包括委託契約は5年間で締結

しており、来年度までは現行の契約となりますので、売上額の増加に対し、収益額の増加は低くなっています。ただ、現行の包括委託契約は令和8年度末で期限を迎え、令和9年度からの包括委託契約では、好調な売上を背景に、県の収益が上がるような条件で契約したいと考えています。

○ 小沼委員

「7 課題に対する取組」の精度が上がっているため、構成を見直しても良いと思います。「県収益の向上」、「競輪事業の活性化」、「イメージアップ」の三本柱は変えずに、レイヤーのところをテーマ性をもって再構成すると、運営側だけでなく、利用者や地域の方も受け止めやすいと思いました。

○ 岡村委員

課題への取組に対する評価は、数字で測れないところも多いと思いますが、どのように評価されているのか教えてください。

○ 事務局

記念競輪のような大きい開催の時や、納涼祭のようなイベントを行う時は、来場者の方にアンケートを取っており、そこで回答していただいた意見を次回以降の委員会で報告させていただきます。

(議題(2) 今後の大宮双輪場の再整備について事務局より説明)

○ 小川委員

他競輪場のスタンド座席数を見ると、8分の1に減らしている場もあるようです。資料に掲載されている写真では、大宮双輪場のように全体に座席があるスタンドではなく、メインスタンドしか座席が無い構造になっているのでしょうか。

○ 事務局

仰る通りです。来場者数の減少に伴い、メインスタンドに機能を集約するコンパクトな作りになっています。

○ 小川委員

大宮双輪場の1日あたりの最大来場者数は7,132人とありましたが、大宮双輪場はコンパクトにしても問題ないのでしょうか。

○ 事務局

必ずしも、座って観戦される来場者用の席を7,000人分用意する必要はないと考えています。立ち見席もあるので、そうしたスペースも含めて大きい開催でも収容できるような施設を作ることを考えています。

○ 小川委員

閉鎖されている席も含めると、大宮双輪場は何席ありますか。

○ 事務局

約3万7,000席あります。西武園競輪場も大宮双輪場同様に閉鎖している席があり、基本計画等の中で多目的競技場の適正な席数を検討していきます。また、7,132人の来場があった大宮記念競輪の最終日の最大滞留者数は3,248人となっています。

○ 岩崎委員長

多目的競技場基本計画案の作成の委託は企画提案方式で業者を選定したとのことですが、参加事業者数と選定の決め手を教えてください。

○ 事務局

参加事業者は一社でした。我々が求める企画提案の内容、業務実施体制、見積額の評価配点が満点の60%以上に達していなければ不調となりますが、当該事業者は水準に達しているという判断をさせていただき、契約に至りました。

○ 小沼委員

渋滞対策や近隣の生活道路等の交通の面への配慮も併せて設計すると良いと思います。

○ 事務局

大宮スーパー・ボールパーク基本計画に沿って野球場とサッカー場と多目的競技場の整備を予定しており、公園全体で交通対策を検討させていただきます。

○ 長岡委員

多目的競技場建設予定地の南側には賑わいエリアを作るという話がありますが、大宮第二公園のテニスコート南側には住宅があり、その住民は生活環境が変わるため、全ての住民が全面的に賛成するか心配です。そのような事情も考慮しつつ、近隣住民への対応も含めて計画を検討していただければと思います。

○ 事務局

現在、大宮第一公園には3つの施設が収まっていますが、現在の大宮双輪場は多目的競技場として、大宮第二公園へ移転すると公表されています。現在、都市整備部で全体の事業計画を検討しています。その中では交通対策や今後の進め方も検討されると考えており、近隣の方にも丁寧に説明していかなければならないと考えています。

昨年度は大宮第二公園の中でオープンハウスという形で、県としての考え等を説明させていただいたことや、パブリックコメントをさせていただきました。今後、多目的競技場基本計画の作成段階においても、住民の声を聞きながら進めていきたいと考えています。

○ 岩崎委員長

現在基本計画作成中なので、留意してほしい点や検討してほしい点があれば、資料の説明以外の視点からでも是非お願いしたいと思います。

○ 栗原委員

今回の委員会ではコンセプト等の意見も求められるとのことで、例えば関東や甲信越等の競輪場のバンクサイズや収容人員等の例を示していただけると検討の一要素として考えられるので、資料の用意をお願いしたいです。

○ 事務局

関東や関東近辺の競輪場のバンクサイズ等を比較できる資料をご用意します。

○ 小沼委員

コンセプトに含まれると思いますが、例えば「地域循環」という言葉を用いて、地域と共に成長していくような設計等、建てて終わりではなく、建てた先の未来を見据えた設計にすると良いと思います。

○ 岩崎委員長

都市公園の中にある多目的競技場であれば、様々な制約があると思うので、どのような点に配慮しながら進めればよいか、公園施設との調和や周辺との関係をどのように作っていくのか、基本計画案を作成する事業者と認識を共有しながら進めてほしいと思います。

○ 岡村委員

大宮第二公園に多目的競技場を作るというのは、公園を潰して作るという理解でよろしいでしょうか。

○ 事務局

大宮第二公園内のどこに多目的競技場を建設するかは正式に決まっていますが、現在駐車場になっている場所であれば、緑地や遊具を撤去する必要はなくなります。そうした点も含めて全体事業計画の中で検討されると考えています。

○ 岡村委員

自然環境との調和も重要な要素になると思います。

○ 小川委員

競輪場が近隣住民から迷惑な施設と思われる原因は何か教えてください。騒音等でしょうか。

○ 事務局

来場者が多かった頃は、ハズレ車券が道に捨てられていたことや、大きな声で応援するお客様がいたと聞いており、昔から近隣にお住まいの方は競輪場に良くないイメージを持っている方もいます。ただ現在は、大きい声で応援されるお客様も少ないため、騒音という観点から強いて挙げるならば、鐘を鳴らす音が響くことがあります。

○ 小川委員

バイクと違って自転車は競技の音が大きくないため、屋内観覧席であれば、大きい声援も聞こえないと考えますがいかがでしょうか。

○ 事務局

バンクの周りには立ち見席があるため、特に大きい開催は一定程度大きな声援はあると考えています。

○ 岩崎委員長

多目的競技場にナイター設備を設けるのであれば、光についても今後の課題の一つになると思います。

○ 小川委員

ドーム型にすれば、音も光も漏れないと思いますがいかがでしょうか。

○ 事務局

ドーム型も選択肢の一つではありますが。ただ屋外型と比較して、空調等の維持管理費が相当増加すると聞いています。

○ 小沼委員

多目的競技場を他の競技、例えばBMXの大会を夜に開催するとなった場合、夜の大会で歓声上がる等、競輪開催における課題以外の課題も出てくる可能性があります。

○ 長岡委員

多目的競技場は、競輪以外の目的で来場されるお客様もいるので、様々な視点からの検討が必要だと思います。

(資料「その他」について事務局より説明)

○ 小沼委員

他競輪場の委託料率や収益率、最低保証等についての参考資料があると検討しやすいと思います。

○ 事務局

競輪場ごとに包括委託の範囲等が異なるため単純比較はできませんが、参考資料として御用意できる範囲でお示ししたいと思います。

○ 岩崎委員長

他にはよろしいでしょうか。それでは他に御意見がないようですので、本日の委員会は終了したいと思います。ありがとうございました。事務局から何かあればお願いします。

○ 事務局

次回の検討委員会は多目的競技場基本計画の策定状況等によって、改めて日程調整を行わせていただきます。

また、本日の委員会の概要については、前回までと同様に公開させていただきますので、御了承願います。

以上をもちまして、「第15回埼玉県競輪事業検討委員会」を終了いたします。

以上